



三菱換気空気清機 **プラス** ロスナイ

壁埋込30cm角穴取付ロスナイ

パネル	寒冷地仕様			準寒冷地・温暖地仕様		
	形名	タイプ	特徴	形名	タイプ	特徴
格子タイプ	VL-200KA3(-BE)-D	壁スイッチタイプ	雑ガスセンサー付自動運転ワイヤレスリモコンタイプ	VL-200KA3	壁スイッチタイプ	雑ガスセンサー付自動運転ワイヤレスリモコンタイプ
	VL-12EKH2(-BE)-D	壁スイッチタイプ	ワイヤレスリモコンタイプ	VL-12EKH2	壁スイッチタイプ	ワイヤレスリモコンタイプ
	VL-12RKH2(-BE)-D	ワイヤレスリモコンタイプ	ワイヤレスリモコンタイプ	VL-12RKH2	ワイヤレスリモコンタイプ	ワイヤレスリモコンタイプ
	VL-12K2(-BE)-D	引きひもタイプ	ロスナイ換気	VL-12K2(-BE)	引きひもタイプ	ロスナイ換気
	VL-12EK2-D	壁スイッチタイプ	ロスナイ換気	VL-12EK2	壁スイッチタイプ	ロスナイ換気
インテリアタイプ	VL-12EKX2-D	壁スイッチタイプ	ロスナイ換気	VL-12EKX2	壁スイッチタイプ	ロスナイ換気
	VL-12RKX2-D	ワイヤレスリモコンタイプ	ワイヤレスリモコンタイプ	VL-12RKX2	壁スイッチタイプ	ロスナイ換気

据付説明書

販売店・工事店様用

\*1を本書では「自動運転タイプ」と略します。  
\*寒冷地仕様は準寒冷地・温暖地でも使用できます。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡ください。

- この製品は住宅用です。それ以外には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付けの前に、この据付説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付けは販売店・工事店様が実施してください。（お客様自身では据付けしないでください）
- 電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。（無資格者の電気工事は法律で禁止されています）

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。次の表示で区分して説明しています。

<b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	<b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの	<b>禁止</b> 禁止	<b>禁止</b> 風呂・シャワー室での使用禁止
<b>注意</b> 分解禁止	<b>注意</b> 指示に従い必ず行う	<b>禁止</b> 水ぬれ禁止	

- 警告**
- 自動運転タイプは計量法に基づく計測器ではありません。酸欠防止や可燃性ガスなどの検知装置として使用しない（室内が酸欠状態になったり、火災の原因）
  - 高温となる場所や直接炎があつたり、油煙の多い場所、有機溶剤のかかる場所には据付けない（火災の原因）
  - 改造や必要以上の分解はしない（火災・感電・けがの原因）
  - 製品を水につけたり、水をかけたりしない（火災や感電の原因）
  - 浴室など湿気の多いところには本体および壁スイッチを据付けない（感電・漏電の原因）
  - 交流100Vを使用する（直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因）
  - 外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ（新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因）
  - 本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に（落下によるけがの原因）
  - 端子台接続部のある機種は指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する（接続の不備があると火災の原因）
  - 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店（電気工事士）が安全・確実に行う（接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因）
  - 据付け後長期使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切るか電源プラグをコンセントから抜く（絶縁劣化による感電や漏電火災の原因）
  - 端子カバーは電気工事後必ず据付ける（ほこり・湿気などの浸入による漏電・火災の原因）

- 注意**
- 壁据付け専用です。天井には据付けない（落下によるけがの原因）
  - 据付けの際は手袋を着用する（けがの原因）
  - 取付けは屋外向かって下りこう配になるように取付け、コーキング処理を確実に（雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因）
  - 専用のシステム部材のウェザーカバーを取付ける（雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因）
  - 下記の使用条件を超える地域・場所には据付けない  
外気温度：-5～40℃（準寒冷地・温暖地仕様） -10～40℃（寒冷地仕様）  
本体周囲および取付壁温度：0℃～40℃、相対湿度80%以下かつ最低外気温度条件（-5℃）にて露点温度7.9℃（20℃、相対湿度45%相当）となる絶対湿度以下  
使用条件を超えた場合、結露水が滴下することがあります。

- お願い**
- 寒冷地では必ず寒冷地仕様ウェザーカバー（P-200KCV(S)Kz）（別売）を使用してください。（P-200KCV D<sub>2</sub>、P-200KBN<sub>2</sub>も使用できます）（本体の凍結防止のために必要です）
  - 中・高層住宅や海岸沿いなど外風の影響を受けやすいところは、運転停止時に外風が侵入することがありますので、直接風が当たらないところに設置してください。
  - 塩害・温泉害の発生しているところでは使用しないでください。

1. タイプ別の違い

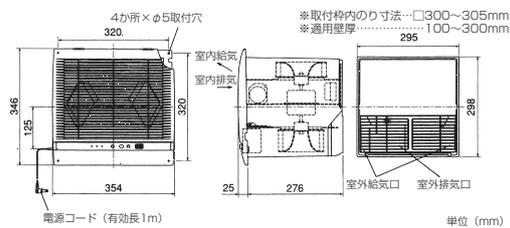
タイプ別に違いがありますので、あらかじめ形名を確認してください。  
※本文中では、表中のマークを使って説明しています。

仕様	形名	電源コード	壁スイッチ	リモコン付	パネル
急速排気付タイプ	寒冷地仕様	VL-200KA3(-BE)-D	あり	—	リモコン付
		VL-12EKH2(-BE)-D	—	壁スイッチ	—
		VL-12RKH2(-BE)-D	あり	—	リモコン付
	準寒冷地・温暖地仕様	VL-200KA3	あり	—	リモコン付
		VL-12EKH2	—	壁スイッチ	—
ロスナイ換気タイプ	寒冷地仕様	VL-12K2(-BE)-D	あり	—	格子タイプ
		VL-12EK2-D	—	壁スイッチ	—
	準寒冷地・温暖地仕様	VL-12K2(-BE)	あり	—	格子タイプ
		VL-12EK2	—	壁スイッチ	—
	寒冷地仕様	VL-12EKX2-D	—	壁スイッチ	—
準寒冷地・温暖地仕様	VL-12RKX2-D	あり	—	リモコン付	
	VL-12EKX2	—	壁スイッチ	—	

2. 外形寸法図

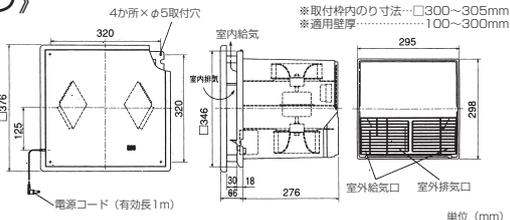
《格子タイプ》

- VL-200KA3 タイプ
- VL-12RKH2タイプ
- VL-12EKH2タイプ
- VL-12K2 タイプ
- VL-12EK2 タイプ

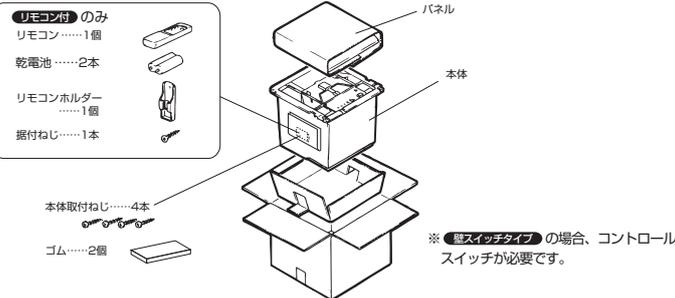


《インテリアタイプ》

- VL-12EKX2タイプ
- VL-12RKX2-D



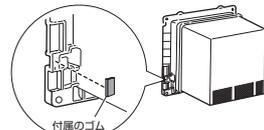
3. 同梱部品を確認してください



4. 据付けの前に

《本体を据付けるときに壁紙が貼り付けてない場合》

付属ゴムの貼付  
左図の位置に付属のゴムを左右2か所に貼り付ける。  
(本体据付時に壁紙が貼り付けてある場合は不要です)



**メモ**  
●このゴムはパネルを本体へ確実に取付けるために使用します。

5. 据付方法

- 警告**  
●据付けは十分強度がある（防虫・防鼠効果を含む）ところに確実に（落下によりけがの原因）
- 注意**  
●システム部材の防火ダンパーウェザーカバーを使用する場合は不燃材料の取付枠を使用する（火災が拡大する原因）

5-1. 壁穴工事

**取付枠の用意**

**お願い**

- システム部材（ウェザーカバーや取付枠）によって取付方法が異なりますのでシステム部材の据付説明書もお読みください。
- コンクリート壁にはシステム部材の取付金枠（P-200K-MW）を使用してください。
- 標準換気扇用不燃枠（P-25HWs）は使用できません。

取付枠を作る場合は、左図の寸法で作る

- 内寸□300～305mm
- 適用壁厚100～300mm（使用するウェザーカバーにより適用壁厚が異なりますのでウェザーカバーの適用壁厚に従ってください）
- 板厚20mm以上
- 室外側へ下りこう配（雨水浸入防止）

**壁穴開け・取付枠の固定**

- 取付枠の外形寸法で壁穴を開ける
  - 天井、壁から150mm以上離す。（パネルが取付けられませんが）
- 取付枠を固定する

**壁スイッチタイプのみ**

切欠部から電源・連絡電線を引き出す。

**お願い**

- 冷暖房機の風が直接当たらない位置に取付けてください。
- 室外から不快なおいを給気しない位置であるか確認してください。

## 5. 据付方法 つづき

### 5-2. 本体の据付け

**1**

本体底面 コーキング バックンより高くコーキング塗布

コーキングの塗布

- ① 本体底面
- ② 取付枠内側コーナー (4か所)

**お願い**

- コーキングを行わないと雨水が浸入します。

① 必ずコーキングする ② コーキング

取付枠

**2**

本体上面 取付枠

本体の据付け

1. コーキングした面を下側にして据付ける
2. 木ねじ (4本) で確実に固定する

**壁スイッチタイプのみ**

電源・連絡電線を本体側面に通し、端子カバーまで引き出す。

木ねじ 端子カバー コーキング部

電源・連絡電線

### 5-3. 電気工事

#### 警告

- 交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると感電の原因)
- 端子台接続部のある機種は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する (接続に不備があると火災の原因)
- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店 (電気工事事) が安全・確実に行う (接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因)

#### 壁スイッチタイプのみ

- 電源の接続、配線工事などは、必ず専門の電気工事店へご依頼ください。
- 運転にはコントロールスイッチが必要。別売のコントロールスイッチ P-04SWL2 をご使用ください。
- 24時間換気扇としてご使用の場合は、別売のコントロールスイッチ P-04SWL2 をご使用ください。
- コントロールスイッチの取付けはコントロールスイッチに同梱の据付説明書に従ってください。

**1**

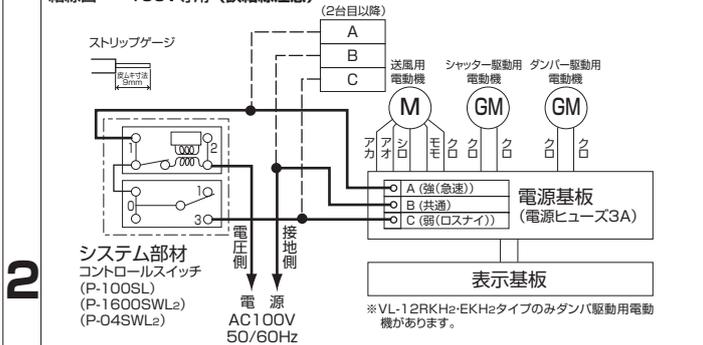
端子カバーを開ける

ねじ3本をはずして、端子カバーをはずす。

端子カバー

ねじ

#### 結線図……100V専用 (誤結線注意)



#### 複数台運転について

システム部材のコントロールスイッチ1個で同時に複数台運転ができます。

VL-12EKH2タイプ	3台まで
VL-12EK2-EKX2タイプ	5台まで

#### 結線をする

結線図のとおり結線をする。(適用電線 VVF単線φ1.6)

#### お願い

- ホタルスイッチや電子式スイッチ (半導体制御による速調スイッチ・タイマー等) など、当社指定以外のスイッチをご使用の場合は、組合せ上、(シャッター動作などの) 不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 他社のスイッチを使用する場合も、必ず結線図に従ってください。(スイッチの渡り線が異なり誤結線となる場合があります)
- 端子台から、電線が抜けないことを確認してください。

#### 電源・連絡電線を固定する

1. 電源・連絡電線をコードクリップで固定する。
  - コードクリップのねじを一旦取りはずしコードクリップに電線を通してからはずしたねじで固定してください。
2. 端子カバーを元通りに取付ける。
3. パネルを取付ける。

**3**

コードクリップ

端子台

端子カバー

コードクリップ

コード押さえ

コードクリップ

電源コード

回路ボックス

- 下記の機種は、コントロールスイッチのネームカードを差し換えます。差し換えはコントロールスイッチに同梱の据付説明書に従ってください。
- VL-12EKH2タイプ

#### 電源コードをロスナイ本体右側から出す場合

**壁スイッチタイプ以外**

1. 左側コード押さえから電源コードをはずす。
  - コードクリップは、はずさないでください。
2. 回路ボックスの下に電源コードをはめ込む。
3. 右側コード押さえに電源コードをはさんで出す。
4. パネル右側部の薄肉部を切りかいて電源コードを通す。

コード押さえ

コードクリップ

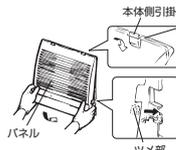
電源コード

回路ボックス

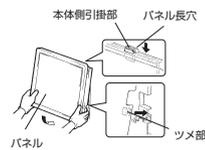
## 5-4. パネルの取付け・取りはずし

### 取付け

#### 《格子タイプ》



#### 《インテリアタイプ》



1. 本体側引掛部にパネル長穴をはめ込む。
2. パネルの下部を押す。

### 取りはずし

#### 《格子タイプ》

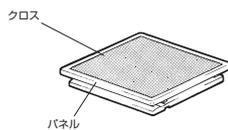


#### 《インテリアタイプ》



1. パネル両側の手掛部に指を掛けパネルを押し広げ、本体両側のツメ部をはずす。
2. パネルを上を持ち上げながら本体上側の引掛部からはずす。

#### インテリアに合わせたクロス貼りかた



壁クロスをパネル前面部に直接貼り付けることができます

#### お願い

- のりは水溶性のものを使用してください。(油性は変形します)
- はみ出したのりは拭き取ってください。(着色します)
- クロスを側面へ巻き込みまいでください。(風路がふさがれます)

## 5-5. 室外側の取付け

### 専用のウェザーカバー (別売) を取付けてください。

(専用のウェザーカバー以外のご使用は十分な換気ができなくなります) 取付け寸法はウェザーカバーに付属の据付説明書を参照してください。

#### お願い

- 寒冷地では必ず寒冷地仕様ウェザーカバー (P-200KCV(S)K2) (別売) を使用してください。(P-200KCV(D), P-200KBN2も使用できます) (本体の凍結防止のために必要です)
- 取付けないと風雨が侵入するおそれがあります。

## 6. 据付け後の確認

### ■据付け終了後、試運転の前にチェック表にしたがって点検します。

### ■不具合があった場合は必ず直してください。

(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)

#### ■チェック表

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
据付け	本体の据付強度は十分ですか?	据付け直す	
	パネルが確実に取付けられていますか?	パネルを取付け直す	
	コーキングはしましたか? (本体まわり、取付枠、室外側)	コーキングをする (雨水が浸入します)	
	壁スイッチのネームカードを差し換えましたか? (VL-12EKH2タイプのみ)	同梱のネームカードに差し換える	
動作確認	ウェザーカバーは取付けられていますか?	寒冷地では必ず専用の寒冷地仕様ウェザーカバー (P-200KCV(S)K2) を取付ける。	
	電圧は100Vですか?	100Vに直す (異電圧を印加すると製品が破損します)	
	<b>壁スイッチタイプのみ</b> 壁スイッチの操作と本体動作は合っていますか? (本体動作: 運転/停止/急速 (強) /ロスナイ (弱))	誤結線です 結線図に従って結線をやり直す (本体動作は誤りません。電圧チェック表で確認します)	
	<b>引きひもタイプのみ</b> 引きひもを引いて動作を確認しましたか?	引きひものからみなどを直す	
自動運転・ワイヤレスリモコンタイプのみ	本体の「運転スイッチ」を押して動作を確認しましたか?		
	羽根当り音がしていませんか?	パネルをはずしてゴミなどを取り除く (見える範囲のみ)	

#### ■電圧チェック表

モード	スイッチ操作	端子間電圧	チェック欄
停止	切	A-B 0V	
	急速 (または強)	A-C 0V	
	急速 (または強)	B-C 0V	
急速 [強] 運転	入	A-B 100V	
	急速 (または強)	A-C 100V	
	急速 (または強)	B-C 0V	
ロスナイ [弱] 運転	入	A-B 100V	
	急速 (または強)	A-C 0V	
	急速 (または強)	B-C 100V	

測定した電圧が左表の端子間電圧と異なる場合は、誤結線されているか、適用外スイッチ (ホタルスイッチ、電子式スイッチなど) の使用が原因と考えられます。通電を停止して、当社指定スイッチへの変更などを実施し、再度結線図に基づき配線をやり直し、チェックをしてください。

※端子間電圧は、電源電圧の変動により若干異なる場合があります。

## 7. 試運転

### ■できるかぎりお客様立会いで、試運転を行ってください。

1. 電源を入れる
    - ① 分電盤のブレーカーを入れる。
    - ② 電源プラグをコンセントに差し込む。(電源プラグ付のみ)
  2. 運転状態の確認を行う  
運転のしかたは、取扱説明書をご覧ください。
  3. 異常な振動・騒音がないか確認し、確認後停止する
    - ① 電源プラグをコンセントから抜く。(電源プラグ付のみ)
    - ② 分電盤のブレーカーを切る。
- お願い**
- 運転停止後すぐに電源を遮断しないでください。

#### お客様への説明

- 分電盤のブレーカーとコンセントまたは、壁スイッチの位置をお客様へ説明してください。
- チェック表の結果をお客様へお知らせください。
- 「リモコン」、「リモコンホルダー」、「乾電池」、「取付ねじ」をお客様へお渡しください。【リモコン付】
- この「据付説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客様へお渡しください。
- お客様が不在の場合は、発注者 (オーナーなど) または、管理人様へ説明してください。